



十三中だより

令和7年3月3日(月) 3月号

校長 吉田 祐一

みずか かんが こうどう
自ら考え行動できる 前向きに努力できる こころ たいせつ
心を大切にできる

おうえん こうりつにゅうし つく そつぎょうしき

みんなで応援する公立入試、みんなで作る卒業式

卒業式が3月14日(金)です。中学校に登校するのも実質あと10日となりました。進路先が決定している人、これから公立高校の出願、入試を控えている人。また出願についても定員に対する倍率がそれぞれ違い、3年生が置かれている状況は、人それぞれとなっていました。

中学校に入学して以来、3年生の人たちは、あらゆる取り組みや行事を同じペースで取り組んできました。しかし、4月からの新しい生活を前にして、進路選択においてそれぞれのペースが少しずつ違ってきました。そんな様子をなんとなく感じてきているのではないかでしょうか。

そんな中、先週金曜日の5、6時間目に3年生は体育館で学年のお別れ会である“土江会”を行いました。ひょっとすると、その会を楽しみにしていた人や入試前で不安に感じていた人がいたかもしれません。

しかし、修学旅行の盛り上がりの再来のごとく、笑いあり、歓声あり、そして涙ありの貴重な時間だったようです。会を企画し、運営した私立専願で合格したを中心とした実行委員の人たち(もちろん担当した先生たち)、お疲れさまでした。Good Jobです。これまで一緒に時を過ごしてきた者同士の時間の共有は、公立一般入試と卒業式を前にした一人ひとりに大きな勇気を与えてくれました。さあ、まとめにかかる。

2月が逃げて...あえて気持ちに余裕を持たせよう

3年生は「あと10日」ですが、1・2年生も「あと14日」です。次年度のスタートがスムーズに切ることができるように、残りの時間を有効に使っていきましょう。この1年間のまとめと次の1年の出だしの準備をしていかなければなりません。

そのためには?—12月の最初の全校集会で「To do list」の話をしたのを覚えていますか。これです。これを作成してください。やみくもに行動するのではなく、気にしていること。実行したいと思っていること。実行しなければならないこと。これらを何かに書き留めてください。リストを眺めて、実行する優先順位を決めて、実行・解決後、リスト項目をつぶしてください。きっと、気持ちに余裕が出てくるはずです。